



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月9日

上場会社名 株式会社INPEX 上場取引所 東
コード番号 1605 URL <https://www.inpex.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上田 隆之
問合せ先責任者 (役職名) 広報・IRユニット (氏名) 脇田 嘉博 (TEL) 03-5572-0750
ジェネラルマネージャー
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	1,601,835	△5.7	839,372	△8.4	995,652	△3.1	280,392	5.1
2022年12月期第3四半期	1,698,743	-	915,892	-	1,027,783	-	266,661	-

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 678,891百万円 (△28.9%) 2022年12月期第3四半期 954,629百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	215.15	-
2022年12月期第3四半期	193.10	-

(注) 2022年12月期第3四半期に係る各数値については、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、遡及適用後の数値を記載しておりません。なお、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	6,971,337	4,584,078	61.9
2022年12月期	6,259,853	4,022,370	60.1

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 4,317,881百万円 2022年12月期 3,760,852百万円

(注) 2022年12月期に係る各数値については、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、遡及適用後の数値を記載しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	-	30.00	-	32.00	62.00
2023年12月期	-	37.00	-	-	-
2023年12月期（予想）	-	-	-	37.00	74.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注2) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。甲種類株式（非上場）に係る配当の状況については、別紙の「甲種類株式の配当の状況」をご参照ください。

3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,155,000	△7.3	1,107,000	△11.2	1,291,000	△10.5	340,000	△26.3	262.51

（注1）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

（注2）対前期増減率については、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、遡及適用後の前期数値と比較して記載しております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期3Q	1,386,667,167株	2022年12月期	1,386,667,167株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	98,471,173株	2022年12月期	80,672,863株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期3Q	1,303,261,977株	2022年12月期3Q	1,380,953,337株

（注）期末自己株式数には、役員報酬BIP信託の保有する当社株式（2023年12月期3Q 892,173株、2022年12月期 910,363株）が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、石油・天然ガス価格、生産・販売計画、プロジェクト開発スケジュール、政府規制、財務・税制条件等の変化により、予想数値と異なる場合があります。なお、予想数値に関する事項は添付資料3ページをご参照ください。

(甲種類株式の配当の状況)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	12,000.00	—	12,800.00	24,800.00
2023年12月期	—	14,800.00	—		
2023年12月期 (予想)				14,800.00	29,600.00

(注) 2013年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき400株の割合で株式分割を行っておりますが、甲種類株式(非上場)につきましては、株式分割を実施致しておりません。これに伴い、甲種類株式の配当については、当該株式分割前の普通株式と同等になるよう、定款で定めております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11
3. 参考情報	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

第1四半期連結会計期間より、会計方針の変更を行っており、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度との比較分析にあたっては、遡及適用後の数値を用いております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご参照ください。

また、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの変更を行っており、前第3四半期連結累計期間との比較分析にあたっては、一部の販売数量及び平均価格につき集計方法の見直しが反映された後の数値を用いております。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間は、原油の販売価格の下落により、売上高は前年同期比969億円、5.7%減の1兆6,018億円となりました。このうち、原油売上高は前年同期比1,509億円、11.4%減の1兆1,674億円、天然ガス売上高は前年同期比541億円、14.8%増の4,192億円です。当第3四半期連結累計期間の販売数量は、原油が前年同期比1,807千バレル、1.8%増の104,728千バレルとなり、天然ガスは前年同期比40,423百万立方フィート、12.5%増の362,722百万立方フィートとなりました。このうち、海外天然ガスは、前年同期比39,918百万立方フィート、15.9%増の290,811百万立方フィート、国内天然ガスは、前年同期比14百万立方メートル、0.7%増の1,920百万立方メートル、立方フィート換算では71,654百万立方フィートとなっております。販売価格は、海外原油売上の平均価格が1バレル当たり80.67米ドルとなり、前年同期比19.16米ドル、19.2%下落、海外天然ガス売上の平均価格は千立方フィート当たり5.76米ドルとなり、前年同期比0.99米ドル、14.7%下落、また、国内天然ガスの平均価格は立方メートル当たり93円96銭となり、前年同期比18円81銭、25.0%上昇しております。売上高の平均為替レートは1米ドル138円12銭となり、前年同期比9円79銭、7.6%の円安となりました。

売上高の減少額969億円を要因別に分析しますと、販売数量の増加により630億円の増収、平均単価の下落により2,625億円の減収、売上の平均為替レートが円安となったことにより1,027億円の増収、その他の売上高が1億円の減収となりました。

一方、売上原価は前年同期比268億円、3.9%減の6,545億円、探鉱費は前年同期比8億円、3.5%増の239億円、販売費及び一般管理費は前年同期比56億円、7.2%増の839億円となりました。以上の結果、営業利益は前年同期比765億円、8.4%減の8,393億円となりました。

営業外収益は前年同期比32億円、1.4%減の2,217億円、営業外費用は金融資産の条件変更等から生じる損失の剥落等により、前年同期比476億円、42.1%減の654億円となりました。以上の結果、経常利益は前年同期比321億円、3.1%減の9,956億円となりました。

特別損失は、豪州での環境規制強化等を含む外部環境の変化等に伴い一部プロジェクトで減損損失を計上したことにより756億円となりました。法人税等は前年同期比1,063億円、14.1%減の6,453億円、非支配株主に帰属する四半期純損失は58億円です。以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比137億円、5.1%増の2,803億円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、セグメント利益及び報告セグメントを変更しており、前第3四半期連結累計期間との比較分析にあたっては、変更後のセグメント利益及び報告セグメントに基づく数値を用いております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)」をご参照ください。

① 国内石油・天然ガス事業(国内O&G)

ガス価の上昇により、売上高は前年同期比346億円、22.3%増の1,895億円となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比177億円、109.0%増の340億円となりました。

② 海外石油・天然ガス事業(海外O&G) — イクシスプロジェクト

販売数量の増加により、売上高は前年同期比203億円、8.0%増の2,736億円となりましたが、金融資産の条件変更等から生じる損失の剥落等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比728億円、46.5%増の2,296億円となりました。

③ 海外石油・天然ガス事業(海外O&G) — その他のプロジェクト

油価の下落により、売上高は前年同期比1,580億円、12.4%減の1兆1,191億円となりましたが、減損損失の増加等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比754億円、72.2%減の289億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は6兆9,713億円となり、前連結会計年度末の6兆2,598億円と比較して7,114億円の増加となりました。このうち、流動資産は9,668億円で、有価証券の増加等により前連結会計年度末と比較して2,374億円の増加となりました。固定資産は6兆45億円で、有形固定資産及び投資その他の資産の増加等により前連結会計年度末と比較して4,740億円の増加となりました。

一方、負債は2兆3,872億円となり、前連結会計年度末の2兆2,374億円と比較して1,497億円の増加となりました。このうち、流動負債は8,241億円で、前連結会計年度末比2,973億円の増加、固定負債は1兆5,631億円で、前連結会計年度末比1,475億円の減少となりました。

純資産は4兆5,840億円となり、前連結会計年度末比5,617億円の増加となりました。このうち、株主資本は3兆701億円で、前連結会計年度末比1,618億円の増加となりました。その他の包括利益累計額は1兆2,477億円で、前連結会計年度末比3,951億円の増加、非支配株主持分は2,661億円で、前連結会計年度末比46億円の増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期通期連結業績予想については、原油価格・為替の前提条件を油価高・円安方向に見直したこと等を加味し、2023年8月9日公表の数値から下記のとおり修正を行いました。

通期連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
前回発表予想（A）	2,031,000	1,009,000	1,151,000	320,000
今回修正予想（B）	2,155,000	1,107,000	1,291,000	340,000
増減額（B－A）	124,000	98,000	140,000	20,000
増減率（％）	6.1	9.7	12.2	6.3

上記見直しは以下の前提により算出しております。

	前回発表予想		今回修正予想	
原油価格 (ブレント)	上期平均(実績)	79.9ドル/バレル	上期平均(実績)	79.9ドル/バレル
	下期平均(予想)	80.1ドル/バレル	下期平均(予想)	85.5ドル/バレル
	・第3四半期平均(予想)	80.0ドル/バレル	・第3四半期平均(実績)	85.9ドル/バレル
	・第4四半期平均(予想)	80.2ドル/バレル	・第4四半期平均(予想)	85.0ドル/バレル
	通期平均(予想)	80.0ドル/バレル	通期平均(予想)	82.7ドル/バレル
為替 (対米ドル)	上期平均(実績)	135.0円/ドル	上期平均(実績)	135.0円/ドル
	下期平均(予想)	135.0円/ドル	下期平均(予想)	142.3円/ドル
	通期平均(予想)	135.0円/ドル	通期平均(予想)	138.6円/ドル

なお、当社販売の原油価格は油種毎に価格が異なり、ブレントに比べ価格差があります。価格差は油の品質等により異なり、また、市況等により価格差も一定ではありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	227,829	177,993
受取手形、売掛金及び契約資産	252,938	219,762
有価証券	58,152	290,663
棚卸資産	68,154	75,160
その他	135,346	217,900
貸倒引当金	△13,020	△14,677
流動資産合計	729,401	966,803
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	157,137	155,312
坑井(純額)	340,259	314,455
機械装置及び運搬具(純額)	1,583,141	1,612,861
土地	18,178	18,438
建設仮勘定	339,787	438,097
その他(純額)	34,615	29,455
有形固定資産合計	2,473,118	2,568,619
無形固定資産		
のれん	40,332	34,295
その他	442,371	428,595
無形固定資産合計	482,704	462,890
投資その他の資産		
投資有価証券	742,914	954,936
長期貸付金	1,279,383	1,441,967
生産物回収勘定	521,541	493,057
その他	87,205	142,022
貸倒引当金	△690	△771
生産物回収勘定引当金	△53,873	△55,787
探鉱投資引当金	△1,852	△2,401
投資その他の資産合計	2,574,629	2,973,023
固定資産合計	5,530,452	6,004,533
資産合計	6,259,853	6,971,337

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,183	28,933
短期借入金	75,878	189,151
コマーシャル・ペーパー	—	172,000
未払法人税等	126,675	141,167
賞与引当金	1,458	—
役員賞与引当金	130	90
事業損失引当金	8,631	11,783
探鉱事業引当金	3,391	7,418
資産除去債務	15,504	15,644
その他	247,887	257,913
流動負債合計	526,740	824,102
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	1,164,369	934,512
株式給付引当金	245	394
特別修繕引当金	705	716
退職給付に係る負債	689	2,171
資産除去債務	303,159	314,936
その他	211,572	280,425
固定負債合計	1,710,742	1,563,156
負債合計	2,237,483	2,387,258
純資産の部		
株主資本		
資本金	290,809	290,809
資本剰余金	683,382	684,043
利益剰余金	2,055,459	2,253,868
自己株式	△121,358	△158,587
株主資本合計	2,908,293	3,070,134
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,147	3,355
繰延ヘッジ損益	32,421	37,078
為替換算調整勘定	815,989	1,207,312
その他の包括利益累計額合計	852,558	1,247,746
非支配株主持分	261,517	266,197
純資産合計	4,022,370	4,584,078
負債純資産合計	6,259,853	6,971,337

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,698,743	1,601,835
売上原価	681,384	654,554
売上総利益	1,017,358	947,281
探鉱費	23,153	23,962
販売費及び一般管理費	78,312	83,947
営業利益	915,892	839,372
営業外収益		
受取利息	36,389	67,850
受取配当金	8,591	4,199
持分法による投資利益	119,920	29,359
生産物回収勘定引当金戻入益	7,688	—
為替差益	9,047	14,031
金融資産の条件変更等から生じる利益	—	95,017
その他	43,305	11,251
営業外収益合計	224,941	221,710
営業外費用		
支払利息	19,525	42,027
生産物回収勘定引当金繰入額	—	1,914
金融資産の条件変更等から生じる損失	83,314	—
その他	10,210	21,487
営業外費用合計	113,049	65,430
経常利益	1,027,783	995,652
特別損失		
減損損失	18,274	75,689
特別損失合計	18,274	75,689
税金等調整前四半期純利益	1,009,509	919,962
法人税等	751,704	645,383
四半期純利益	257,804	274,578
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,856	△5,813
親会社株主に帰属する四半期純利益	266,661	280,392

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	257,804	274,578
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,316	△792
繰延ヘッジ損益	2,466	△2,358
為替換算調整勘定	621,051	385,039
持分法適用会社に対する持分相当額	69,990	22,424
その他の包括利益合計	696,824	404,312
四半期包括利益	954,629	678,891
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	951,184	675,580
非支配株主に係る四半期包括利益	3,444	3,310

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IAS第12号「法人所得税」(2021年5月改訂))

当社グループの一部の在外連結子会社及び在外持分法適用関連会社は、第1四半期連結会計期間より、IAS第12号「法人所得税」(2021年5月改訂)を適用しております。

本改訂により、リース及び廃棄義務のように、取引時に同額の将来加算一時差異と将来減算一時差異が生じる場合、企業はそれにより生じる繰延税金負債及び繰延税金資産を認識することが明確になりました。本改訂は遡及適用され、前年同四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前連結会計年度の連結貸借対照表は、投資有価証券が2,451百万円減少、固定負債のその他に含まれる繰延税金負債が13,540百万円増加、利益剰余金が10,983百万円減少、為替換算調整勘定が5,008百万円減少しております。また、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書においては、遡及適用を行う前と比べて、持分法による投資利益が121百万円増加、法人税等が889百万円増加しております。なお、前連結会計年度の期首の純資産に累積的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高が33,776百万円減少しております。

(追加情報)

(金融資産の条件変更等から生じる利益及び金融資産の条件変更等から生じる損失)

在外子会社が適用する国際財務報告基準(IFRS)第9号「金融商品」に基づき計上した、認識の中止を伴わない金融資産の条件変更、及び金融資産の見積将来キャッシュ・フローの改定等から生じた損益であります。

(グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、単体納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日)に従っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。今般、当社グループでは、2022年に公表した中期経営計画に基づく事業ポートフォリオの大幅な組替えやそれに伴う取締役会での評価・分析指標の見直し等に伴い、セグメント利益及び報告セグメントの変更を行いました。

従来セグメント利益は連結損益計算書の営業利益と調整しておりましたが、親会社株主に帰属する当期純利益を中期経営計画の経営目標としていること、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績評価に用いる指標であることから、より実態に即した評価・分析を行うために、第1四半期連結会計期間よりセグメント利益を連結損益計算書の親会社株主に帰属する当期（四半期）純利益に変更しております。また、当社グループはグローバルな石油・天然ガスの探鉱、開発、生産、販売及びそれらを行う企業に対する投融資、すなわち「石油・天然ガス事業（以下、O&G）」を主たる事業としてきたことから、従来地域別の報告セグメントを採用しておりましたが、事業ポートフォリオの大幅な組替えや長期戦略にネットゼロ5分野への取り組みが追加されたこと等から、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを「国内O&G」及び「海外O&G」に区分し、「海外O&G」については、当社グループの主要オペレーター・プロジェクトである「イクシスプロジェクト」とそれ以外の海外プロジェクトから構成される「その他のプロジェクト」に区分しております。なお、ネットゼロ5分野等、報告セグメントに含まれない事業セグメントについては「その他」の区分に集約しております。

変更後の報告セグメント及びその他の内容は以下のとおりです。

報告セグメント等		主な事業及びプロジェクト名
国内O&G		南長岡ガス田、直江津LNG基地
海外O&G	イクシスプロジェクト	豪州イクシス及び周辺探鉱
	その他のプロジェクト	豪州（イクシス除く）・東南アジア・欧州・アブダビ等におけるプロジェクト
その他		ネットゼロ5分野、輸送・販売事業、土木事業等

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当該変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。また、第1四半期連結会計期間より、会計方針の変更を行っており、前第3四半期連結累計期間は遡及適用後の数値となっております。

Ⅱ 前第3四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	国内O&G	海外O&G					
		イクシス プロジェクト	その他の プロジェクト				
売上高							
外部顧客への売上高	154,973	253,268	1,277,135	13,365	1,698,743	—	1,698,743
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,148	13,497	—	4,146	21,792	△21,792	—
計	159,122	266,766	1,277,135	17,512	1,720,536	△21,792	1,698,743
セグメント利益又は損 失(△)	16,299	156,794	104,389	3,064	280,546	△13,884	266,661

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ネットゼロ5分野等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△13,884百万円は、セグメント間取引消去163百万円、報告セグメント及び「その他」の区分に配分していない全社費用△14,048百万円であります。全社費用の主なものは、報告セグメント及び「その他」の区分に帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の親会社株主に帰属する四半期純利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産の減損損失)

生産量見通しの下方修正等により、以下のとおり減損損失を計上しました。

「海外O&G—その他のプロジェクト」セグメント・・・イーグルフォードシェール18,274百万円

(のれんの金額の重要な変動)

「海外O&G—その他のプロジェクト」セグメントにおいて、株式会社INPEXノルウェー及びINPEX Idemitsu Norge ASを新たに連結の範囲に含めております。当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては18,432百万円です。

Ⅲ 当第3四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	国内O&G	海外O&G					
		イクシス プロジェクト	その他の プロジェクト				
売上高							
外部顧客への売上高	189,595	273,617	1,119,103	19,518	1,601,835	—	1,601,835
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,106	15,314	—	11,383	31,804	△31,804	—
計	194,701	288,932	1,119,103	30,902	1,633,640	△31,804	1,601,835
セグメント利益又は損 失(△)	34,068	229,671	28,977	△2,710	290,006	△9,614	280,392

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ネットゼロ5分野等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△9,614百万円は、セグメント間取引消去1,470百万円、報告セグメント及び「その他」の区分に配分していない全社費用△11,084百万円であります。全社費用の主なもの、報告セグメント及び「その他」の区分に帰属しないのれんの償却及び一般管理部門にかかる費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の親会社株主に帰属する四半期純利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産の減損損失)

豪州での環境規制強化等を含む外部環境の変化等に伴い、以下のとおり減損損失を計上しました。

「海外O&G—その他のプロジェクト」セグメント・・・プレリユードFLNGプロジェクト75,689百万円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 参考情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

第1四半期連結会計期間より報告セグメントを変更しており、前第3四半期連結累計期間の数値は、変更後の区分に基づき作成したものを開示しております。

① 生産実績

セグメントごとの生産実績は次のとおりであります。

セグメントの名称		区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
国内O&G		原油	0.7百万バレル (日量2.7千バレル)	0.7百万バレル (日量2.5千バレル)
		天然ガス	27.7十億CF (日量101.6百万CF)	26.3十億CF (日量96.2百万CF)
		小計	5.8百万BOE (日量21.2千BOE)	5.5百万BOE (日量20.1千BOE)
		ヨード	412.3t	409.9t
		発電	163.8百万kWh	157.6百万kWh
海外O&G	イクシス プロジェクト	原油	8.8百万バレル (日量32.3千バレル)	9.3百万バレル (日量33.9千バレル)
		天然ガス	227.5十億CF (日量833.2百万CF)	264.8十億CF (日量970.1百万CF)
		小計	53.0百万BOE (日量194.2千BOE)	60.2百万BOE (日量220.5千BOE)
	その他の プロジェクト	原油	96.7百万バレル (日量354.2千バレル)	94.9百万バレル (日量347.6千バレル)
		天然ガス	62.4十億CF (日量228.6百万CF)	70.9十億CF (日量259.6百万CF)
		小計	108.2百万BOE (日量396.3千BOE)	107.8百万BOE (日量394.7千BOE)
		硫黄	53.4千t	101.0千t
	その他		発電	425.3百万kWh
合計		原油	106.2百万バレル (日量389.1千バレル)	104.9百万バレル (日量384.1千バレル)
		天然ガス	317.6十億CF (日量1,163.4百万CF)	362.0十億CF (日量1,325.9百万CF)
		小計	167.0百万BOE (日量611.7千BOE)	173.4百万BOE (日量635.2千BOE)
		ヨード	412.3t	409.9t
		硫黄	53.4千t	101.0千t
		発電	589.1百万kWh	1,226.4百万kWh

(注) 1 海外で生産されたLPGは原油に含みます。

2 原油及び天然ガス生産量の一部は、発電燃料として使用しております。

3 上記の生産量は持分法適用関連会社の持分を含みます。

- 4 当社グループが締結している生産分与契約にかかる当社グループの原油及び天然ガスの生産量は、正味経済的取分に相当する数値を示しております。なお、当社グループの権益比率ベースの生産量は、前第3四半期連結累計期間は原油114.3百万バレル（日量418.6千バレル）、天然ガス325.2十億CF（日量1,191.2百万CF）、合計176.4百万BOE（日量646.1千BOE）、当第3四半期連結累計期間は原油110.5百万バレル（日量404.7千バレル）、天然ガス365.9十億CF（日量1,340.1百万CF）、合計180.0百万BOE（日量659.5千BOE）となります。
- 5 BOE（Barrels of Oil Equivalent）原油換算量
- 6 ヨードは、他社への委託精製によるものであります。
- 7 数量は小数点第2位を四捨五入しております。

② 受注実績

当社グループの販売実績のうち、受注高が占める割合は僅少であるため受注実績の記載は省略しております。

③ 販売実績

セグメントごとの販売実績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称		区分	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)		
			販売量	売上高	販売量	売上高	
国内O&G		原油	452千バレル	4,551	322千バレル	3,503	
		天然ガス (LPGを除く)	71,139百万CF	143,246	71,654百万CF	180,407	
		LPG	1千バレル	5	—	—	
		その他		7,169		5,683	
		小計		154,973		189,595	
海外O&G	イクシス プロジェクト	原油	8,426千バレル	112,836	9,635千バレル	107,887	
		天然ガス (LPGを除く)	204,704百万CF	140,432	241,540百万CF	165,730	
		小計		253,268		273,617	
	その他の プロジェクト	原油	94,043千バレル	1,197,386	94,771千バレル	1,050,925	
		天然ガス (LPGを除く)	46,188百万CF	77,453	49,271百万CF	65,126	
		LPG	69千バレル	568	441千バレル	2,869	
		その他		1,727		182	
	小計		1,277,135		1,119,103		
	その他		原油	—	3,575	—	5,105
			天然ガス (LPGを除く)	268百万CF	1,109	257百万CF	1,315
LPG			—	2,291	—	3,849	
その他				6,388		9,249	
小計				13,365		19,518	
合計		原油	102,921千バレル	1,318,349	104,728千バレル	1,167,421	
		天然ガス (LPGを除く)	322,299百万CF	362,242	362,722百万CF	412,580	
		LPG	69千バレル	2,865	441千バレル	6,718	
		その他		15,286		15,115	
		合計		1,698,743		1,601,835	